

4 今後の取組み

これまでに整理した課題と目標に基づき、目指す姿に近づくための取組方針を次のとおり設定します。

- 既存の公共交通においては、運転手の不足により運行の縮小は避けられない状況です。
- 運転手確保と共に、現在の運転手人数でできる効率的な運行に見直します。
- DXや地域の共助による移動手段の確保など、工夫や新しい取組みにより、市民が満足できる公共交通を確保します。

取組方針1 公共交通を支える人材の育成と確保

- 再就職先や移住者の就職先に運転手を選ばれるような支援策
 - 中学生、高校生へのキャリア教育
- 必要な人材の確保

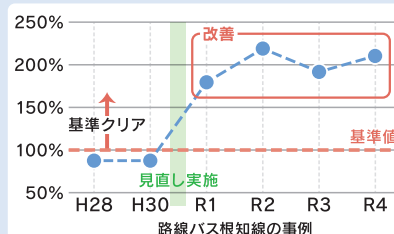
参考事例

例) 新潟県佐渡市、新潟交通佐渡(株)による「路線バス運転士緊急確保事業補助金」
例) 糸魚川市教育委員会「キャリアフェスティバル」

取組方針2 既存交通の効率化と見直し

- 運行の見直し
 - サービス水準の設定 など
- 持続できる公共交通網の構築

参考事例 例) 糸魚川市地域公共交通再編実施計画



取組方針3 DX等の推進による利便性向上

- ユニバーサルデザイン・バリアフリー対応車両の導入
 - キャッシュレス決済の導入 など
- 社会ニーズへの対応

参考事例 例) 頸城自動車 県内高速バスのキャッシュレス化



取組方針4 新たな移動手段の検討と導入

- 住民主体の移動手段
 - ライドシェア ●グリーンスローモビリティ など
- 地域に合った移動手段の確保

参考事例 例) 富山県朝日町 ノッカル



糸魚川市地域公共交通計画

令和7年3月 策定

計画期間

令和7年度～16年度

マスタープラン【ダイジェスト版】

1 この計画は...

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年施行)に基づく法定計画で、地方公共団体が中心となり、まちづくりと連携し、地域内の様々な移動手段(公共交通等)を見直し、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成するための計画です。

2 糸魚川市の公共交通は...

- 市内全域に鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの公共交通網が張り巡らされています。
- 交通手段が複数あることで、利用者は目的や用途に応じた使い分けができ、一定の利便性が確保されています。

糸魚川市全域 と 公共交通網



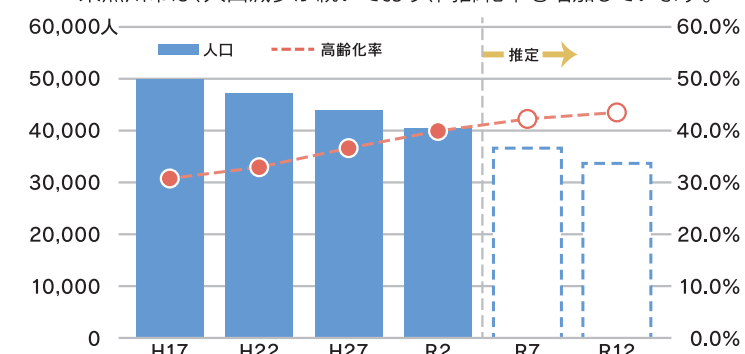
移動に関連する課題

人口の減少や年齢構成の変化に伴う課題

公共交通網の維持確保に関する課題

社会の変化による課題

●糸魚川市は、人口減少が続いており、高齢化率も増加しています。

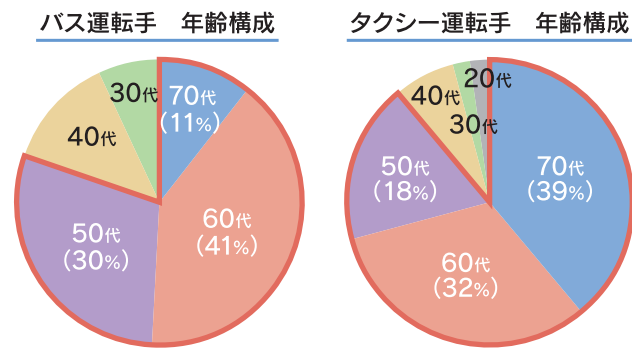


【出典：糸魚川市総合計画】

3 課題と今後の方向性

課題1 公共交通を支える人材の減少

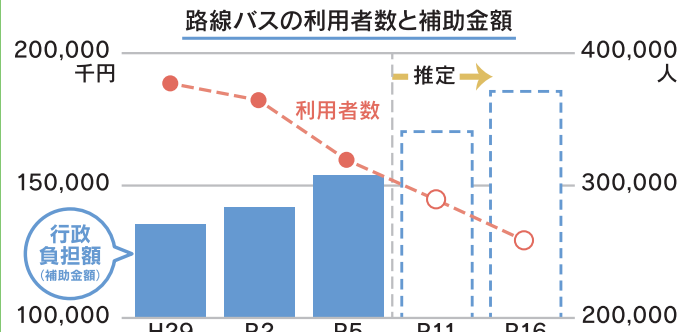
- 公共交通を支える運転手の減少と高齢化が進んでいます。



年齢層の偏りは、急激な運転手不足の要因となります。

課題2 公共交通利用者の減少

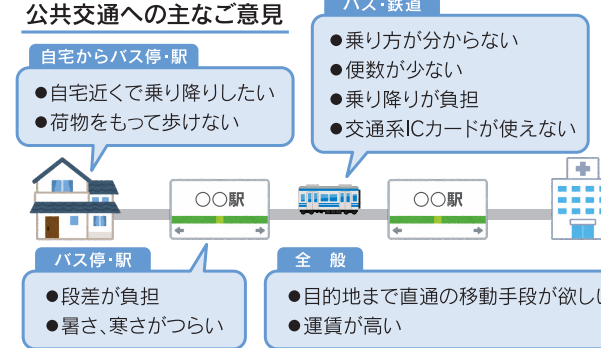
- 人口減少と少子化、マイカーの普及により、公共交通利用者の減少が続いています。



利用者の減少により、行政負担が増加しています。

課題3 社会に合った交通手段の確保

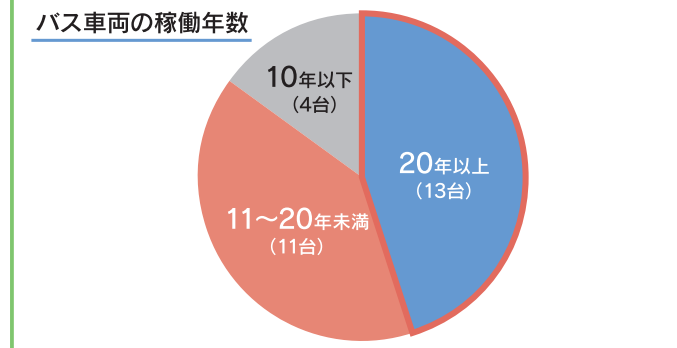
- 多様化するニーズや高齢者への対応が求められています。



移動に関するお困りごとや求めるものは多種多様です。

課題4 時代に合ったハード面の更新

- 高齢化やDXを意識した車両や設備の更新が必要です。



長期間の使用により、突発的な故障や修繕が増えています。

目指す姿...

市民、交通事業者、市が協働し、
地域の実情に即した持続可能な地域公共交通

基本方針(目指す姿の趣旨)

市民、交通事業者、市それぞれがそれぞれの立場で行動し、様々な社会の変化においても、糸魚川市の市民生活と共に観光や定住、経済を下支えすることができる公共交通網の構築を目指します。

目標1 持続可能な公共交通網の構築

- ▶▶▶ 市民生活や観光、定住、経済を下支えすることができる公共交通網を構築します。

目標2 新たな取組みによる公共交通の補完と充実

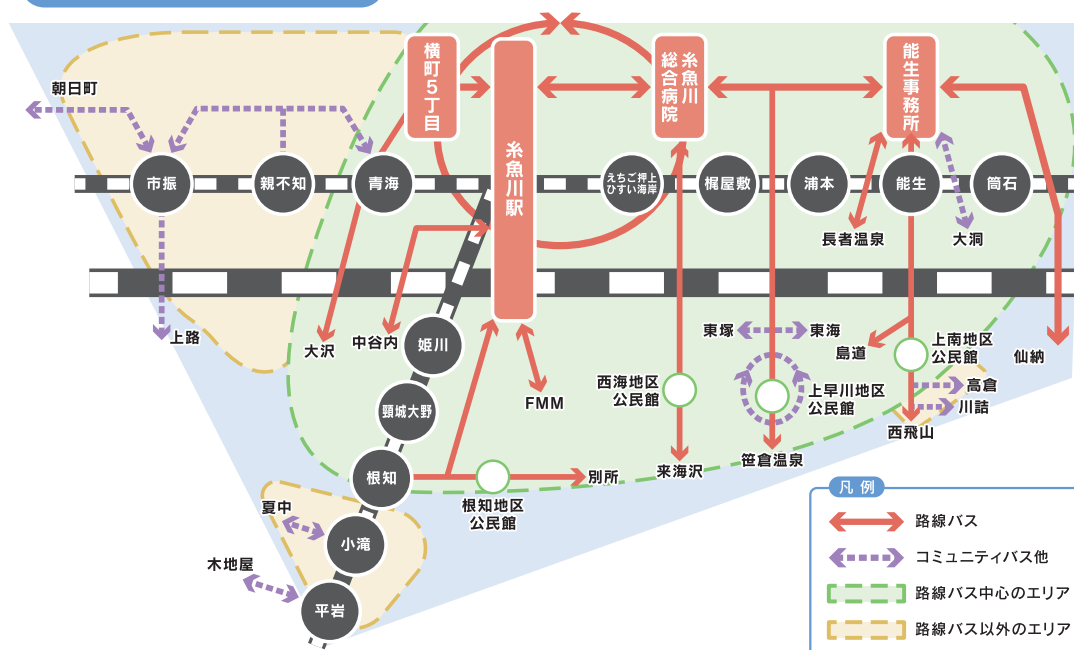
- ▶▶▶ 糸魚川市に適した新たな移動手段等により、公共交通網の補完と充実を図ります。

目標3 住民、事業者、行政の役割分担による公共交通の維持

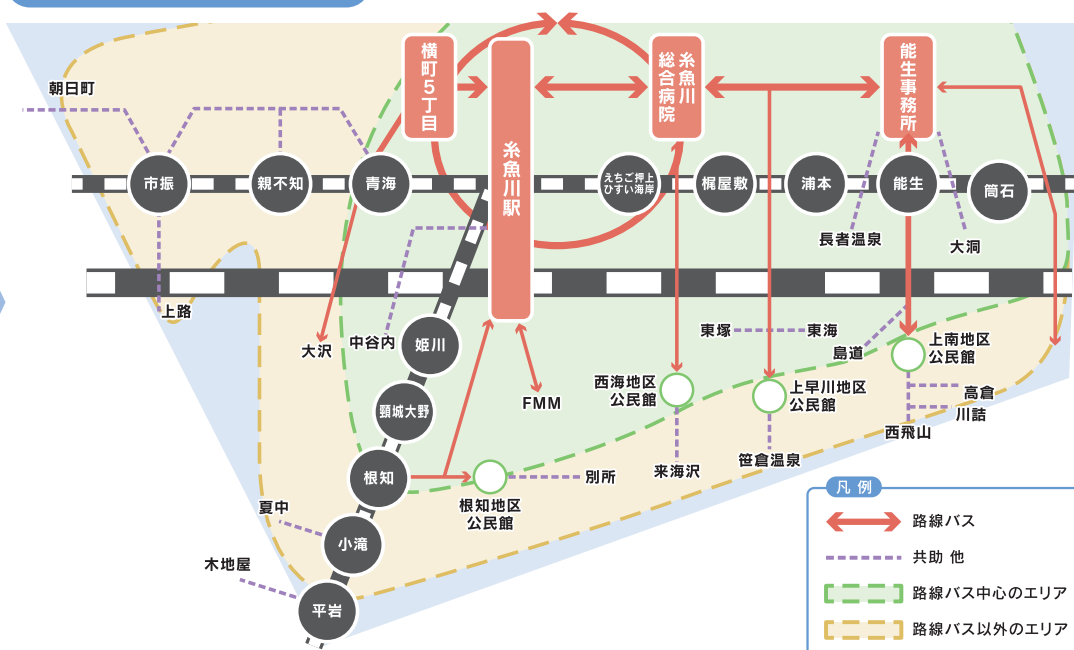
- ▶▶▶ 公共交通を利用するまたは公共交通に関わる市民を増やし、住民自らがおでかけできる環境を積極的に確保していける環境を整備します。

公共交通網のイメージ

現在の交通網イメージ



将来の交通網イメージ



将来の交通網の特徴

- 限りのある運転手、車両を効率よく運用するために運行範囲を狭め、乗合が効率的である路線を中心に維持確保を図ります。
- 利用の少ない路線等については、乗合による非効率も踏まえた運行区間や便数の見直し、共助による移動手段確保など適切な手法による交通網の維持を目指します。
- 共助による移動手段確保は、より地区にあった運行を実現し、住み続けられる地区につながる取り組みと考え、検討を進めます。